

令和7年度 定年退職

川越市 初野建材工業株式会社 入社

在職時部隊名： 防衛医科大学校

退職時階級： 陸 曹 長

吉 田 剛 さん

INTERVIEW

01

現在の仕事内容について教えてください

初野建材工業株式会社という企業で、電話対応や伝票・請求書の処理、商品の受発注など、事務業務を中心に担当しています。また、日本相撲協会認定の「荒木田土」を本場所全てに納品しており、私自身も両国国技館へ3トンダンプで納品しています。社員だからこそ見ることできる、国技館のウラ側を見ることができ日々新しい経験をさせていただいています。

02

就職先を選定する上でどこを重視しましたか

長く安定して働けることを最も重視しました。これまでの経験を少しでも活かせる職場であることに加え、職場の雰囲気や勤務時間など無理なく長く続けられる環境であることも大切にしました。

03

民間企業に入る前と後で、民間企業に対する印象に変化はありましたか

入社前は、自衛隊とは仕事の進め方や考え方が大きく違うのではないかと考えていました。実際には、責任をもって仕事をすることや、周囲と協力することは共通しています。一方、安全管理には違いがあり、自衛隊は車両の単独運行は厳禁ですが、弊社では納品等を一人で行うこともあり、より慎重に自ら安全を判断する場面が多いと感じます。

04

民間企業で働く上で大切だと感じたことはありますか

コミュニケーションと相手の立場を考えて行動することが大切だと感じました。特に事務の仕事では、社内だけではなく取引先やお客様とのやりとりが多いため、正確さと丁寧な対応を心がけています。また、分からないことは確認することも大切だと感じています。

05

現役時代に準備しておけば良かったと思うことはありますか

パソコン、特にExcelは必須のため、現役のうちから身につけておけば良かったと思います。また自衛隊とは違う環境で働くため、早い段階から自分がどのような仕事をしたいのかを考えておくことも大切だと思います。個人的には、弊社の業務で必要な大型特殊免許は事前に取得しておけばよかったなと実感しています。

06

就職後「思ったより大丈夫だった」と感じたことはありますか

新しい環境に不安はありましたが、実際に働き始めると、周囲の方に教えていただきながら少しずつ仕事を覚えることができました。やってみれば何とかできるという事を実感しました。

これから定年退職を
迎える隊員へ一言

定年後の生活や再就職について不安を感じる方がほとんどだと思います。先輩自衛官から「長く続けられそうな仕事選びが重要」と聞き、そこを第一優先としました。自衛隊の常識は民間では非常識と言われるますが、今の職場は自衛隊経験者の私をととても重宝してくださっています。これから再就職される皆様も、自衛隊で勤務した日々を誇りをもって邁進していただき、次の人生を楽しんでください。



Work Scene

